

JBC

www.jbctools.com

取扱説明書



DME

4ツールコントロールユニット

本取扱説明書は下記製品に対応しています。

DME-9A (100V)

同梱物リスト

以下の品目が同梱されています。



4ツール
コントロールユニット 1 個



電源コード 1 個
Ref. 0024077 (100V)



取扱説明書 (本書) 1 個
Ref. 0032605

機能

DMEは最大4つのツールに同時に対応し、各ツールに1モジュール+1ペダル(各ツールに周辺機器モジュールが必要)が対応します。



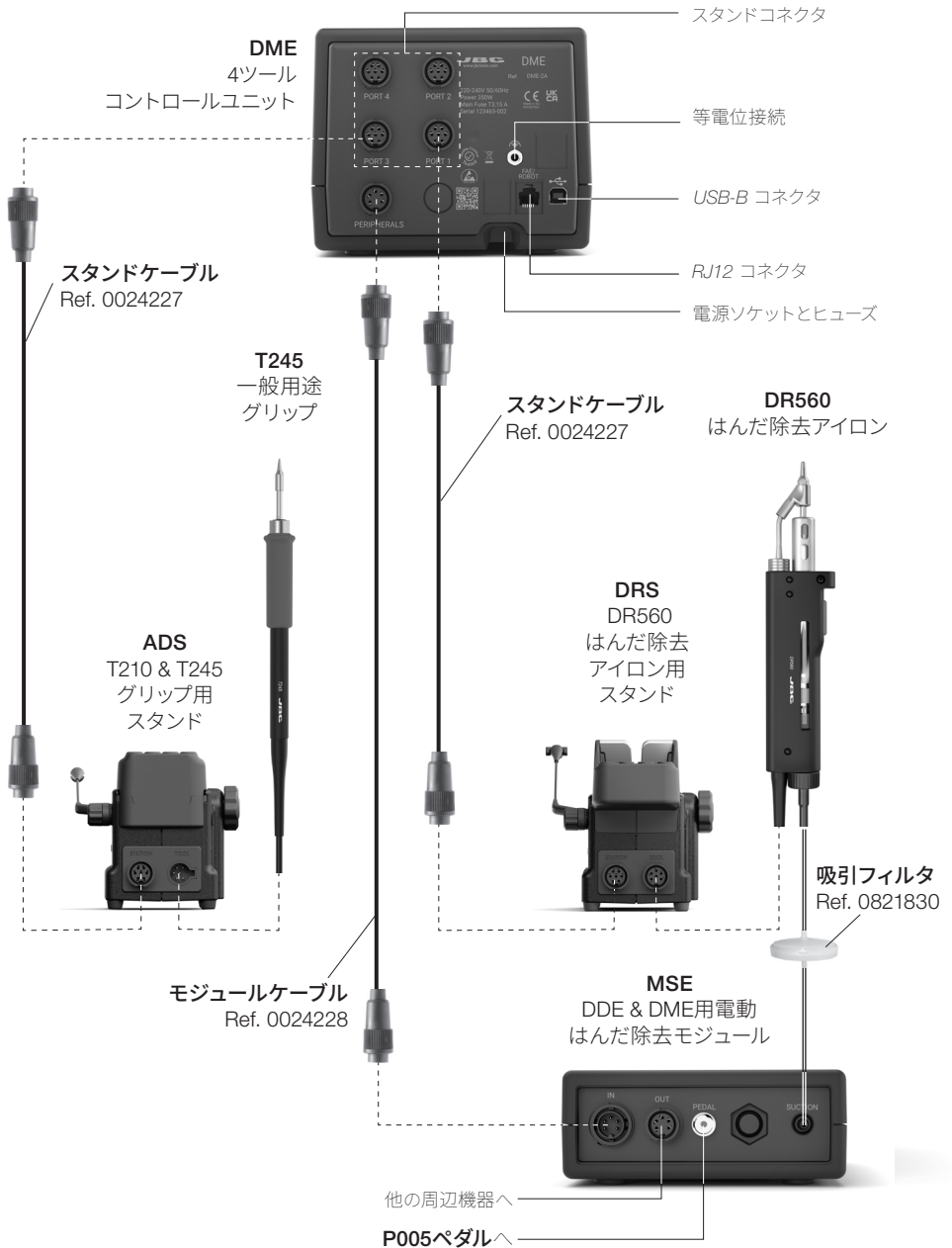
2,8" インチカラー
TFT スクリーン

ディスプレイを
傾けて調節可能

USB-A コネクタ

電源スイッチ

接続例



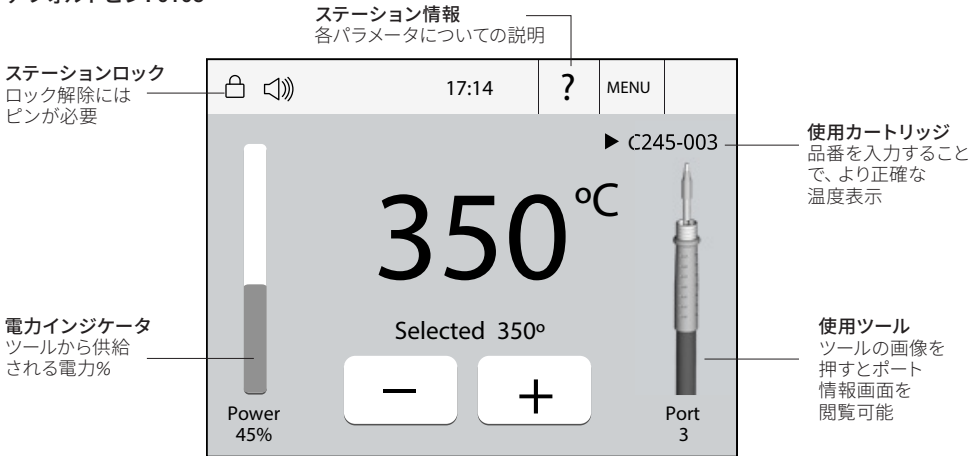
対応表

はんだ付けやはんだ除去のニーズに合わせて、最適な機器をお選びください。

モジュールシステム				周辺機器		
コントロール ユニット	スタンド	ツール	カートリッジ シリーズ	MSE / MVE	MNE	P405
DME	ADS	T210	C210			●
		T245	C245			●
		T470				●
	DNS	T210N	C210		●	●
		T245N	C245		●	●
	APS	AP250	C250			●
	AMS	AM120	C120			●
		PA120				●
	ATS	AT420	C420			●
	HTS	HT420				●
	DSS	DS360	C360	●		●
	DRS	DR560	C560	●		●

作業画面

DMEは分かり易いユーザーインターフェースで、ステーションパラメータに素早くアクセスできます。
デフォルトピン: 0105

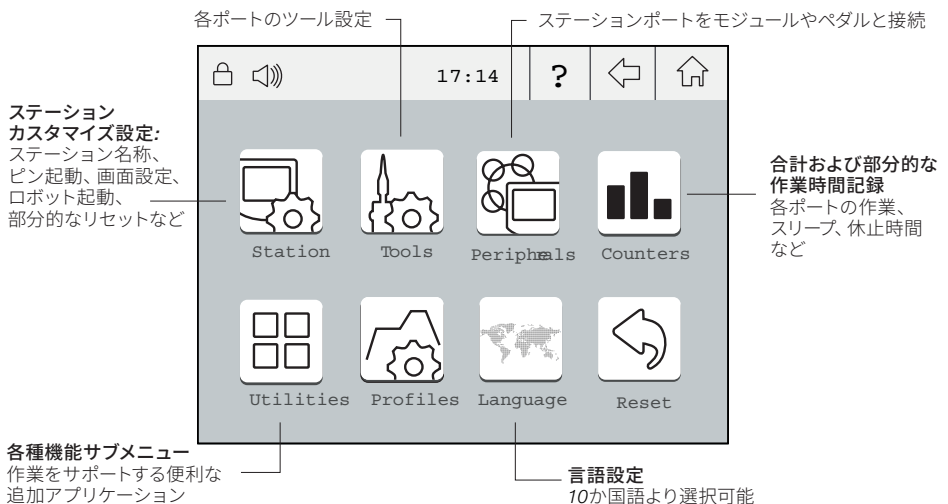


トラブルシューティング

ステーションのトラブルシューティングは、www.jbctools.co.jpの製品ページをご確認ください。

メニュー画面

ステーション情報(?)を押して、画面上のメニューオプションの詳細情報を確認できます。



各種機能サブメニュー



グラフ

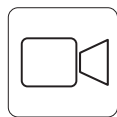
はんだ接合形成中のこて先温度とパワー伝達がリアルタイムで詳細にグラフデータとして表示され、分析することができます。これにより、工程の調整方法や使用するこて先を決定することができるため、最高品質のはんだ付けが実現可能です。互換性がある：ディノライトAM2111およびAM2011



ファイル

グラフの出力

USBフラッシュドライブをUSB-Aコネクタに差し込んで、はんだ付けプロセスをCSV形式で保存します。



ビデオ

ビデオの再生

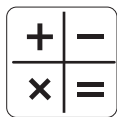
AVIフォーマットで320x240pxであれば、USBデバイスからビデオファイルを再生できる。



顕微鏡

USB接続で顕微鏡*をステーションに接続することができます。画像はステーションのディスプレイに表示されます。

*Dino Lite AM2111およびAM2011と互換性があります。



計算機

計算機能を提供します。



変換


例えば、°C 値を °F 値に変換することができます。


システム通知


以下のアイコンが画面のステータスバーに表示されます。


 USBフラッシュドライブが接続されています。

 ステーションはPCにより制御されています。

 ステーションはロボットにより制御されています。

 ステーションソフトウェア更新
INFOを押すと、更新が開始されます。

 警告
INFOを押すと、警告の説明が表示されません。

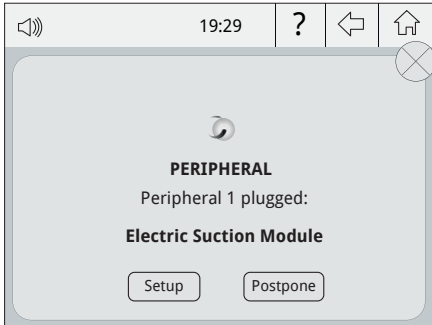
 エラー
INFOを押すと、エラーの説明・種類・修正方法が表示されます。

MSE / ペダル初期設定

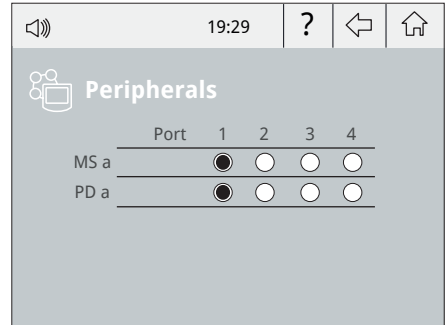


電動はんだ除去モジュール(MSE-A)を接続すると、ポップアップウィンドウが開きます。

周辺機器



1. 電動吸引モジュールを設定するには、ポップアップウィンドウで Setup-セットアップを押します。



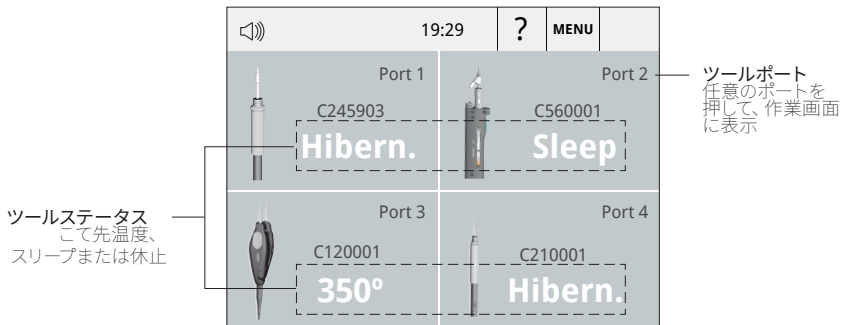
2. 周辺機器接続のリストからモジュールを選択します。最初の接続は“a”、2番目は“b”などと表記されます。(例: MS_a, MS_b,...)。ペダルの場合も同様です(例: PD_a,...)

3. 周辺機器にリンクしたいツールのポートを選択します。

4. Menu-メニュー または Back-戻る を押して変更を保存します。一度設定すると、Peripherals- 周辺機器メニューに入ることでモジュールの設定を変更することができます。

複数ポートの同時制御

作業画面上のツール画像を押すと、すべてのポートの情報がリアルタイムで表示されます。

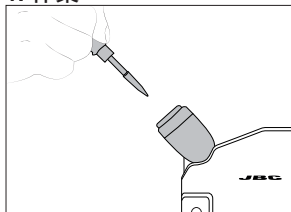


操作

JBC高性能はんだ付けシステム

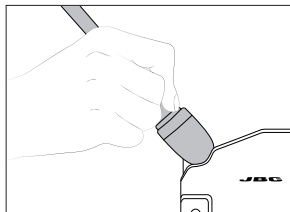
当社の画期的な技術により、こて先の温度を非常に早く回復することができます。これにより、作業者はより低い温度で作業することが可能になり、はんだ付け品質の向上につながります。スリープモードと休止モードにより、こて先の温度はさらに下がり、その耐久性を約5倍高くすることができます。

1. 作業



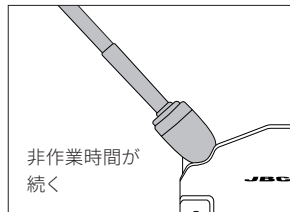
スタンドからツールを持ち上げると、こて先が選択した温度まで加熱されます。

2. スリープ

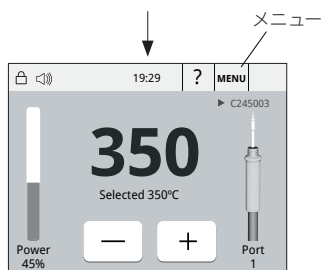


ツールがスタンドに置かれると温度は設定のスリープ温度まで降下します。

3. 休止



しばらく非作業時間が続く、電源が切れてツールのこて先温度は室温まで冷めます。

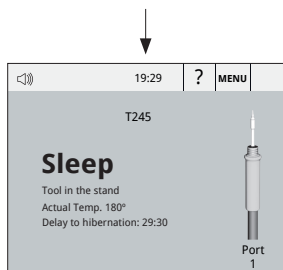


作業温度:

90から450°Cの間で設定変更をする場合画面上の「-」または「+」をタップして実行します。

温度レベル:

Menu-メニュー> Tools-ツール > Temperature levels-温度レベルをタップしON-オンと設定します。レベルはMenu-メニュー> Tools-ツール> Set Temperature levels-温度レベル設定をタップして変更します。

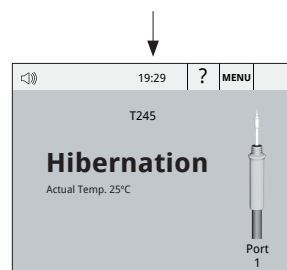


スリープ起動前待機時間:

Menu-メニュー> Tools-ツールをタップしSleep Delay- スリープ起動前待機時間を選択して0から60分またはNo Sleep-スリープなしを設定します。

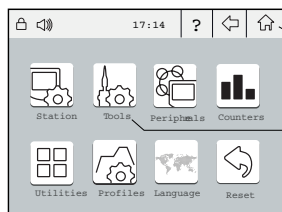
スリープ温度:

Menu-メニュー> Tools-ツールをタップしSleep Temperature-スリープ温度を選択して値を変更します。



休止起動前待機時間:

Menu-メニュー> Tools-ツールをタップしHibernation Delay- 休止起動前待機時間を選択して0から60分またはNo Hibernation- 休止なしを設定します。



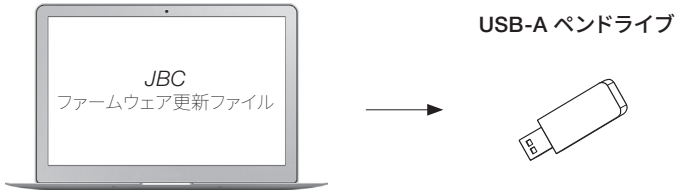
ホーム: 作業画面に戻る

ツール

USB接続とファームウェア更新

ダウンロード: JBCファームウェア更新ファイル

JBCファームウェア更新ファイルをwww.jbctools.co.jp/ja/jbc-software最新のアップデートパッケージ(含め)からダウンロードできます。jpuファイルをUSB-Aペンドライブ(FAT32)のルートフォルダに解凍してください。可能であれば他のファイルがない状態が望ましいです。



接続: USB-A ペンドライブからコントロールユニットへ

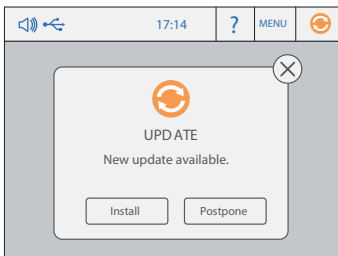
最新のアップデートファイルとアップデート通知が入ったUSB-Aペンドライブをコントロールユニットに接続します。


このアイコン  が自動的に表示されます。



DMEステーションがUSBペンドライブを検出しない場合、ペンドライブ分割ソフトウェアを使用してください。

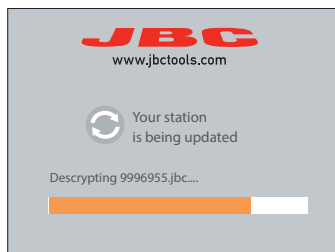
インストール: JBCファームウェア更新ファイル



ポップアップウィンドウで「Install-インストール」を押します。
 が表示されない場合は、notification-通知をタップします。

更新の方法

アップデート中はコントロールユニットの電源を切らないでください。アップデートバーが終了し、作業画面が表示されるとインストールが終了します。

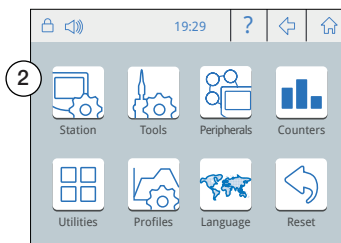
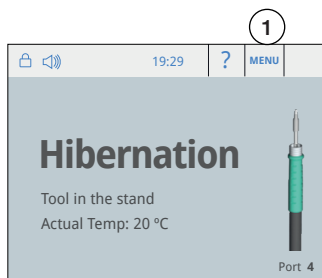


「Welcomeようこそ」のポップアップを確認後、作業画面が表示されます。

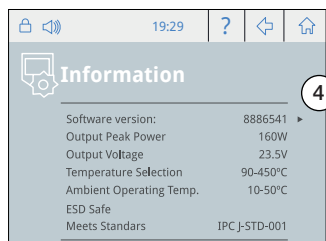
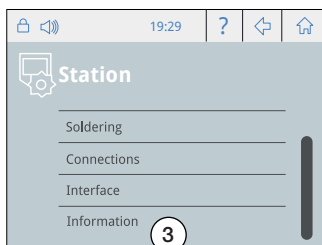
アップデートが長時間（30分以上）停止した場合は、ステーションをリセットし、インストールが完全に完了するまでお待ちください。

ファームウェアバージョンの確認

以下の手順で、新しいファームウェアが正常にインストールされたことを確認します。



まず「Menu メニュー (1)」を選択し、次に画面上的「Station ステーション」アイコン(2) を選択します。



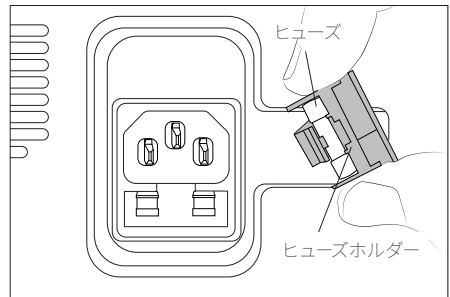
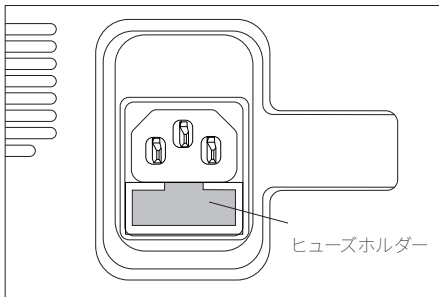
「Information 情報」(3) を選択し、▶ (4) を押してファームウェアのバージョンを確認します。

メンテナンス

メンテナンスまたは保管を行う前に、必ず機器を冷やしてください。

- ガラスクリーナー、または湿った布でステーションの画面を拭きます。
- 湿った布で本体とツールを拭きます。アルコールは金属部分以外には使用しないでください。
- ステーションがツールのステータスを検知できるように、ツールとスタンドの金属部分に汚れがないことを定期的に確認します。
- こて先が酸化しないように、こて先表面はきれいにしてはんだを乗せておきます。表面が錆びていたり、汚れがついていたりすると、はんだ接合への熱伝達の妨げになります。
- すべてのケーブルやチューブを定期的に確認してください。
- ヒューズは以下手順に従って交換します。

定期的に清掃



1. ヒューズホルダーを引き出し、ヒューズを取り外します。必要に応じて、ツールを使って外します。

2. 新しいヒューズをヒューズホルダーに押し込み、ステーションの所定の場所に戻します。

- 欠陥や損傷した部品を交換します。JBC純正部品のみを使用してください。
- 修理を行えるのは、JBC認定のテクニカルサービス担当者のみです。

安全に関する注意事項



感電、けが、火事、爆発を避けるため、必ず安全に関するガイドラインに従ってください。

- はんだ付けやリワーク以外の目的で、ユニットを使用しないでください。不適切な使用により、火事が発生する恐れがあります。
- 電源コードは、適切なコンセントに差し込んでください。使用する前に、適切に接地が行われていることを確認してください。コードを抜く場合は、ワイヤーではなくプラグを持ってください。
- 通電中 부품の作業は行わないでください。
- ツールを使用しない場合は必ずスタンドに戻し、スリープモードが有効になるようにしてください。ステーションの電源を切った後でも、こて先、ツールの金属部分、スタンドが熱い場合があります。スタンド位置調節時を含めて、注意して取り扱ってください。
- ユニットの電源を入れたままで、その場を離れることのないようにしてください。
- 換気グリルは覆わないでください。熱により、可燃性の製品から出火する場合があります。
- 炎症を避けるため、フラックスに直接接触せず、目に入らないようにしてください。
- はんだ付を行う際、煙に気をつけてください。
- 作業場を清潔にし、整理整頓してください。作業する際は、適切な保護めがねや防護手袋を着用しけがをしないようにしてください。
- 廃棄する液体スズの取扱いには十分気を付けてください。やけどをする恐れがあります。
- 本機器は、8歳以上の子供や、身体的、感覚的、精神的能力の低い人、経験のない人でも、機器の使用に関して適切な監督や指示を受け、それに伴う危険性を理解していれば使用できます。子供が本機で遊ばないように注意してください。
- 監督下でない場合は、子供がメンテナンスを行わないでください。

仕様

DME

4ツールコントロールユニット

Ref. **DME-1A** 120V 50/60Hz. 入力ヒューズ: T-3.5A. 出力: 23.5V

- ピーク出力 (ツール): 150W/ツール
- 設定温度範囲: 90 - 450 °C
- 温度安定性 (静止空気): ±1.5°C IPC J-STD-001F に準拠し満たす
- 温度精度: ±3% (基準カートリッジを使用)
- 温度調節: ±50°C ステーションメニューより設定
- こて先アース間電圧/抵抗: 以下に準拠し満たす
ANSI/ESD S20.20-2014 IPC J-STD-001F
- 作業環境温度: 10 - 50 °C
- 接続:
 - USB-A: ファームウェア更新、
グラフとプロファイル、
Dino-Lite USB 顕微鏡
(モデル AM2011, AM2111)
 - USB-B: PC 通信
 - RJ12: 吸煙器/周辺機器/ロボット
- コントロールユニット本体寸法/重量: 232 x 148 x 120 mm / 4.57 kg
(L x W x H)
- 梱包寸法/重量: 258 x 328 x 208 mm / 4.97 kg
(L x W x H)

CE規格準拠

ESD対応

JBC

保証

JBC は、この装置の製造欠陥に対する保証を 2 年間提供します。部品・作業代金無償で欠陥部品の交換を行います。

製品の摩耗または誤用は、保証の対象外です。

保証を受けるには、装置を購入した代理店または JBC に返品する必要があります（お客様ご負担）。

www.jbctools.com/productregistration から登録を行うと、JBC の保証を 1 年延長することができます。登録期間は、購入から 30 日以内です。



本製品は、通常のごみとして廃棄することはできません。

欧州指令 2012/19/EU に従って、寿命に達した電気装置の回収を行い、認定を受けたりサイクル施設に引き取ってもらう必要があります。

